

国立循環器病研究センター主催のおいしい減塩レシピコンテスト
第4回S-1g(エス・ワン・グランプリ)大会において
国際災害栄養研究室チームが一般部門の3位を受賞しました

国立循環器病研究センターでは、循環器病予防のために各地の美味しい減塩食を発掘するためのレシピコンテスト「S-1g(エス・ワン・グランプリ)」を開催しています。(S-1gとは、塩(Salt)を1g減らそう(-1g)という意味です。)

第4回大会では、51件(一般部門32件、学生部門19件)のレシピの応募があり、国際災害栄養研究室チームを含む8チーム(各部門4チーム)が、12月14日(土)に大阪ガスハグミュージアムでの最終選考に出場しました。

国際災害栄養研究室チームは、「被災時にも大活躍の簡単レシピ！」として缶詰などを用いた「心も元気になる彩りパエリアとサバカドサラダ(サバとアボカドのサラダ)」を作り、3位を受賞しました。

笠岡(坪山)室長は賞状を授与されて、「災害時にも減塩が大切であること、缶詰などの備蓄の重要性を伝えたかった」とコメントしました。

